

平成27年10月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A L B E R T  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 村 崇  
 (コード番号：3906 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 最 高 財 務 責 任 者 村 上 嘉 浩  
 (TEL. 03-5909-7510)

## 業績予想の修正、特別損失の計上、及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、平成27年10月29日開催の取締役会において、最近の業績の動向、特別損失の計上、及び繰延税金資産の取崩しを踏まえ、平成27年2月19日に公表した平成27年12月期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成27年12月期通期業績予想数値の修正（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	1,054	194	180	109	52.62
今回修正予想 (B)	940	△85	△95	△190	△93.58
増減額 (B - A)	△114	△279	△275	△299	△146.20
増減率 (%)	△10.8	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成26年12月期)	918	166	161	167	91.37

(注) 1. 当社は、平成26年10月15日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(注) 2. 上記の予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

## 2. 修正理由

### (1) 業績予想修正の理由

売上高につきましては、今期末に検収予定であった案件について、クライアントにおける人事異動等の影響により受注までのリードタイムが伸びたことを受け、想定していた金額の受注に至っていないこと、及び、対象とするクライアントの企業規模が大きくなるにつれて案件規模が大型化している影響により、現時点において今期中の受注には至らない見込みとなった案件もあったことから前回発表と比べて減収予想となりました。

利益面につきましては、平成27年7月15日に開示いたしました「第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」の文中に記載いたしました通期の予想について、以下2点の理由により、期初予想値を据え置くこととしておりました。

1. 受注までのリードタイムの長期化により上期中に計上できなかった案件を、下期に計上する想定であること。
2. 人材の採用が順調に進んでいるため、今後受注する案件に対して正社員をメインでアサインできる想定であること。

しかしながら、以下の事由により利益面におきましても修正をすることとなりました。

1. 当社が対象とするクライアントの規模が大きくなるにつれ、案件規模が拡大傾向となることや、受注までの意思決定に要するリードタイムが長期化することについて認識が不足しておりました。このため、提案から受注までの期間が第2四半期末時点の想定をさらに上回る結果となり、受注に至っていない一部案件が生じました。
2. 自社プロダクト開発のうち、開発リソースを一部外注に依存していたDMP (Data Management Platform) システムSI案件について、コスト低減の観点から正社員による内製化を図っております。正社員の採用は順調に進んでおりますが、外注から正社員への業務引継ぎに想定以上の時間を要しており、外注と正社員で二重にコストが発生してしまいました。ただし、当該二重コストにつきましては、今期末を目途に解消される予定となっております。

また、当期純利益に関しましては、上記要因に加えて、今回計上した特別損失及び繰延税金資産の取り崩し（下記「特別損失及び繰延税金資産の取り崩し明細」参照）により、190百万円の当期純損失を計上する見込みとなりました。

### (2) 特別損失及び繰延税金資産取り崩しの理由

下記のとおり、ソフトウェア仮勘定の減損損失に伴う特別損失を計上するとともに、通期においても赤字予想としたことから、当第3四半期において繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額の計上が発生し、当期純利益に関しても前回予想を下回る見込みとなりました。

#### 1. 特別損失の計上について

進行中の自社プロダクトの新規開発について、企画内容の見直しを四半期末毎に行っております。今回、本第3四半期末時点で製品化を見送ることにした機能につきまして、これまでソフトウェア仮勘定として計上しておりました25百万円を一括減損いたしました。

#### 2. 繰延税金資産取り崩しについて

当期の業績見通し修正を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検証した結果、繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額に70百万円を計上いたしました。

なお、本会計処理は実質的な支出は伴わず、当社のキャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

・特別損失及び繰延税金資産の取り崩し明細

	内容	金額
	減損損失（ソフトウェア仮勘定の減損）	25百万円
特別損失計		25百万円
繰延税金資産の取り崩し		70百万円

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上